新生児聴覚検査 の現状と公費助成は の実施

答弁:新生児聴覚検査は受診率が約82% 握に努めています。公費助成につい で、未受診児も新生児訪問や3~4 えております ては、今後の研究課題としたいと考 カ月健診等で確認し、全乳幼児の把

達も遅れ、コミュニケー 発見が遅れると言葉の発 効果が得られます。逆に 導により言語発達の面で 障がいのある先天性難聴 ションに支障をきたす可 補聴器の使用や適切な指 合でいるとされ、早めの は百人に1人~2人の割 中 條 生まれつき聴覚に ます。 ております。 聴覚検査について周知し パママ学級等で赤ちゃん 市では、妊娠届の際やパ 診等で確認し、全乳幼児 ちゃんにつきましても新 が生まれる前から新生児 でございます。さらに本 生児訪問や3~4カ月健 の把握に努めている状況 また、未受診 0

当たり5千円程度かかる 分で終わりますが、1回 聴覚検査は痛みもなく数 能性もあります。新生児 ありません。 ずかで、埼玉県内には、 いる市町村は全国でもわ なお、公費助成をして

ての考えをお伺いしま 新生児聴覚検査の実施の 費用が壁となります。 そこで加須市における 公費助成につい 新生児聴 握されている状況でござ 児について、2~4カ月 最終的には、 ついては、 の段階までで個人的に把 市長 新生児聴覚検査は いますので、公費助成に 今後の研究課 全ての乳幼

覚検査の加須市での受診

題としたいと考えており

率は約82%となっており

悲願である地域医 現状等に

答弁:病院の誘致に関しては、 の熱意が一体となって、 立場にある市内の各界、 につながっていくものと考えており 各層の方々 初めて成就

地 域

鈴木 ましては、まだスタート しょうか、お伺いします。 と思いますが、いかがで 導力を発揮していかれる 市との対応など一層の指 を実現させるために久喜 部機能の加須市への移転 民の長年の悲願であり 市長 病院の誘致に関し 鈴木 済生会栗橋病院の一 病院の誘致は É 市 ら真摯に問題に取り組ん じめ、大きな課題がたく 思っております。さら さらには、 できた加須市の姿勢、 さんありますが、従来か で説明していきたいと 須市議会の皆様のお力、 いただくよう様々な場 医療問題に対する長い間 久喜市と の関係をは 市 民の皆様にご理 市民の皆様の 面 薢

この事業を他の施策より を必要とすることから、 ルがたくさんあります。 支援など、大きなハード いたところであります。 ラインに立たせていただ ことはやむを得ないこと の施策に多少影響が及ぶ 優先することになれば他 しましては、多額の支援 特に財政支援、これに関 建設予定地の確保や財政 おります。 がっていくものと考えて 各界、各層の方々の熱意 いろな立場にある市内の 解決に当たっては、いろ この課題の成就につな ます。やはりこの問題の する方々への理解が深 の気持ちが一体となっ が一体となって、初めて まっていくと思っており 初めてそれぞれ関係

\$\$\$

防

佐伯 に生かすことが必要で ら教訓を学び、防災対策 佐伯 度重なる大震災か

ションの備蓄、授乳室、 す。そこで、拠点避難所 点から地域防災計画を見 ことや男女共同参画の視 室・物干し場を設置する 男女別のトイレ・更衣 プライバシーの確保で 直すことです。 に間仕切り用のパーテー に避難所の質の問題・熊本地震の教訓は、第

なかったことです。そこ お伺いします。 を求めます。市の考えを で、学校施設の耐震強化 避難所となる学校が使え きな揺れで建物が損壊、 第二の教訓は二度の大 康の保持等の充実を図っ 西高校の避難所で双葉町 てまいります。また、旧騎

る女性への配慮につきま 災害地区支援班 避難所におけ の皆さんを支援してきた ても、教訓にしていく必要 あり方、何が問題かについ 者として、避難所の運営の

しては、

対 拠点避難所の運営等に

答弁: 男女共同参画の視点を取り入れた防 災体制を確立し、避難所の運営のあり 方、被災後の健康の保持等の充実を 図ってまいりたいと考えております。

ど、 り、災害時の市民の生命と 色々なところに目配りし 認識は持っておりません。 対策で十分であるという ついては、現時点での市の がら、 財産、そして、被災後の健 を確立してまいります。 点を取り入れた防災体制 性の参画を推進するな ておりますが、今後、 置するなど、女性の視点 ていく、中身が問われてお 市長 防災対策の充実に にも配慮した体制をとっ 0 域の防災計画における女 中に必ず女性職 関係部署と連携しな 男女共同参画の視 員を